

新旬 元気秋田人

秋田を元気にしようと、さまざまな活動をしている人たち。
まずは秋田を楽しもうよ！
今年も元気な1年にしていきたいですね！

超神ネイガ―の漫画本



仲小路ジャズフェスティバル



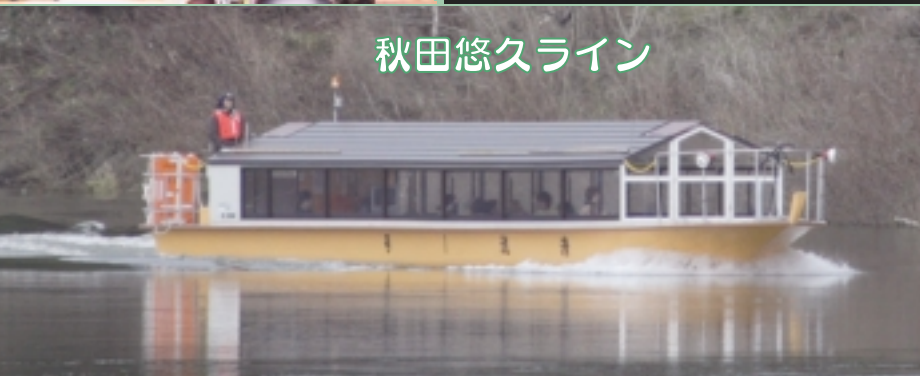
河辺わかび座



わらしべ貯金箱



秋田版モノポリー



秋田悠久ライン

秋田への愛をペンに込めて

超神ネイガーを漫画化 奥田ひとしさん



「ショーの雰囲気が伝わるよう、にぎやかな誌面にしました。ぜひ読んでください」

平成19年2月、秋田のヒーロー「超神ネイガー」を漫画化した単行本が全国で発売されました。

作者の奥田さんは、平成2年に東京でプロデビュー。「会社勤めをやめて漫画家をめざしたとき応援してくれた両親への感謝が大きい」と、いつか両親のいる秋田に帰ろうと思いつき、売り上げが30万部を超えた代表作「天地無用！」の執筆が落ち着いた平成16年12月、実家が近い秋田市に転居しました。

出版社が集まる東京から離れましたが、インターネットを使って、仕事はこれまでどおり続けています。「秋田だからダメ、ではなく、やり方しだいです」と話す奥田さん。同じく秋田でがんばるネイガーを応援したくて東京の出版社と交渉し、単行本の発売にこぎつけました。

子どもがおじいちゃん、おばあちゃんと話すきっかけになればとの思いから、全国販売にもかかわらず、セリフはほとんど秋田弁。「私自身が秋田弁大好き、というのもありますけどね」と、秋田で暮らすうれしさが伝わってくる笑顔で話してくれました。

仲小路に音楽で賑わいを

日赤跡地でジャズフェス開催 芳賀洋介さん

「秋田には小沼ようすけがいるじゃないか！ってひらめいたんです」と語るのは、平成19年9月に日赤跡地で仲小路ジャズフェスというイベントを開催した実行委員会代表の芳賀さん。「秋田に何か恩返しをしたい」と言う秋田出身のジャズギタリスト・小沼ようすけさんと意気投合し、約2か月間という短期間で準備を進めました。

当日、小沼さんのコンサートには千200人もの人たちが集まってくれました。思いも寄らぬ大成功で

した。「お客さんが気軽にジャズを楽しんでくれているのを見てうれしかった。失敗するかもしれないという不安は、秋田でもできるんだ」という確信に変わりました」と芳賀さんは話します。

今年も小沼さんを迎え2回目のジャズフェスティバルを開催します。同日に仲小路でのイベントも計画。「中心市街地に少しでも活気が戻ってくれたら。目標は、2年間で仲小路の空き店舗をなくすことです」と意欲満々です。



「自分の考えや思いは、常に発信していきます」